

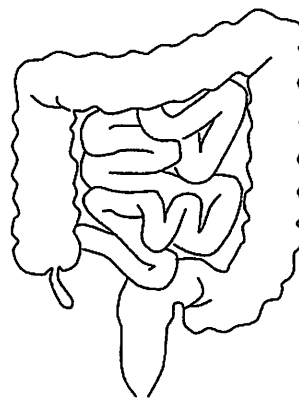
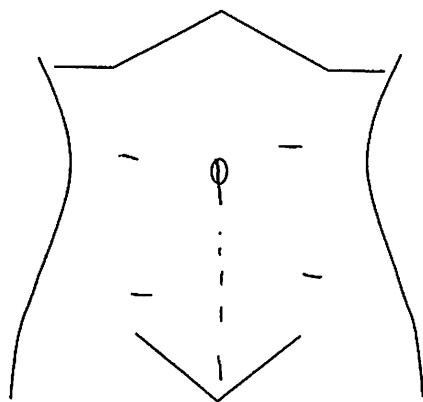


松波総合病院 治療（検査） 説明・同意書

治療（検査）の名称 腹腔鏡下直腸低位前方切除術

施行予定日 [REDACTED]

別紙説明書 あり



【病名・病態】

直腸動静脈瘻

【内容・方法・施行後の経過】

腹腔鏡下直腸低位前方切除術（表面からの出血で開腹へ移行することがあります）

【治療（検査）の有用性】

（治療（検査）によって得られるメリット、効果、生存率などについて）
動静脈瘻が存在しそれに伴う腸炎を発症したため今後の再燃を予防できる

【合併症の可能性】

（頻度の高い合併症、重篤な合併症とその可能性、死亡の可能性などについて）
縫合不全→一時的人工肛門造設が必要になります。また、術中の状況によっては吻合が不安定と判断した場合はその場で人工肛門を作ります。
遺残膿瘍、創感染、肺炎など一般的合併症
開腹に移行した場合は創感染のリスクが上がります。

【代替となる治療（検査）の利害得失】

手術以外には動脈塞栓術が考えられますが腸壊死のリスクが高く勧められません

【治療（検査）を行わなかった場合に予想される事態】

良性の疾患ですから経過観察は可能ですが再燃の可能性は高いと判断しています。

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]